

「民間放送ガバナンス指針」適用状況について

2026/8/31

青森放送株式会社

青森放送は、1953 年の開局以来、『県民のために 県民とともに』を社是として、放送を通じて地域の民主主義の発達と地元経済の発展、そして地域文化の振興に努めてきました。これからも『民間放送ガバナンス指針』が掲げる公共性の発揮、人権の尊重、法令・社会規範遵守、透明性の向上、適切な経営体制の確立の 5 つの基本原則に基づき、新しい地域社会を創るために自らを律して企業活動を行っていきます。

1. 公共性の発揮

県民の「知る権利」に応え、県民とともに「あおもりの未来」を拓いていきます。

■当社の取り組み

●主な自社制作番組に関する情報

◆ラジオ

「朝の民謡」(月～金 5:00～5:10)

1953 年 10 月の開局時から続く長寿番組。津軽じょんから節や南部俵積み唄など青森県内に伝わる多くの民謡を毎朝紹介しています。

「RAB 耳の新聞」(毎週日曜日 6:40～7:00)

1978 年 5 月に放送を開始した長寿番組。視覚障がい者が企画から取材、出演まで担当し、視覚障がい者への情報提供や健常者に対する啓発活動を 48 年にわたって続けています。

ラジオの自社制作番組は下記サイトをご覧ください。

<https://www.rab.co.jp/radio/>

◆テレビ

「RAB ニュースレーダー」(月～金 18:15～19:00)

1970 年 4 月に全国初のローカルワイドニュース番組としてスタートしました。放送開始から 56 年、記者たちは県民の暮らしにカメラを向け、喜びと悲しみを伝え続けています。2022 年 12 月から青森放送アプリでの同時配信を開始しました。

<https://news.ntv.co.jp/n/rab>

「1550 ニュースレーダーWith」(月～金 15:50～16:45)

県内 40 市町村のふるさと特派員がスマートフォン中継で地域話題を伝える企画や県内の商工業者を応援する企画、伝統芸能を次世代につなげる企画のほか、県民からの投稿動画や提供情報をもとにした企画などを伝える県民参加型の情報番組です。

<https://www.rab.co.jp/tv/with/>

当社テレビの「番組種別・種別放送時間」は下記サイトをご参照ください。

<https://www.rab.co.jp/classification/>

●災害放送の実績

青森放送は『地域を守る 地域を創る』を業務方針に掲げ、“県民の命を守る放送の拠点づくり”に取り組んでいます。2019 年に青森県内 4 つのコミュニティ FM と「災害時の情報提供に関する協定」を結び、より多くの情報を県民に提供できる体制を整えました。2020 年から 2021 年にかけて青森県や県内全 40 市町村と「地域防災パートナーシップ協定」を締結し、災害時には避難情報や生活支援情報を発信、平時には市町村とともに防災講座を開いて、地域住民の防災意識の向上を図っています。さらに 2022 年に弘前大学と「いのちを守る連携協定」を締結しました。弘前大学が開発した生活の質 (Quality Of Life) を向上させるための健診「QOL 健診」をスポットやイベントで県民に伝え、普及を図っています。2025 年 9 月には「地域防災パートナーシップ協定」と「いのちを守る連携協定」を基に、防災と健康のイベント「青森みんなの防災フェア 2025」を開催。会場では防災・減災の最新技術や防災用品の展示、特殊車両の体験搭乗のほか QOL 健診などを行い、2 日間で 1 万人が来場しました。このほか、アナウンサー全員が日本防災士機構の認定する防災士の資格を取得し、番組出演などを通じて防災をわかりやすく伝え、県民が自分事としてとらえるきっかけづくりをしています。

<2025 年度の緊急報道事例>

- ・ 2025 年 7 月 30 日、カムチャツカ半島東方沖を震源とする地震に伴う津波警報発表時、
ラジオ 9:48~15:00 ローカル特番を放送
テレビ 10:25~11:30 ローカル報道特番を放送
31 日 16:34 の津波注意報解除まで地図スーパー表示
- ・ 2025 年 12 月 8 日、青森県東方沖地震で、八戸市で震度 6 強を記録した際、「news zero」で緊急速報展開を行い、
ラジオ 24:03~翌日 3:00 報道特番を放送
テレビ 23:38~翌日 3:00 報道特番を放送
23:48~翌日 6:20 L 字画面で避難情報・ライフライン情報表示

●住民の知る権利に応える報道の実績

青森放送は「県民のために 県民とともに」を社是として、地域に根差したニュース取材・番組作り・コンテンツ制作を行っています。RAB ニュースリーダーは 2025 年度平均視聴率が個人全体 13.1%、コアターゲット 10.1%と、個人・コア視聴率調査が始まった 2020 年度以降で最も高くなるなど県民から支持されています。ラジオ・テレビの番組制作にも力を注いでおり、番組コンクールの受賞歴は芸術祭大賞 3 回、優秀賞 6 回。民間放送連盟賞グランプリ 1 回、最優秀賞 16 回、優秀賞 118 回。ギャラクシー大賞 4 回。長い時間をかけて築いた県民との信頼関係がテレビの視聴率 29 年連続三冠を支えています。

〈2025 年度制作のドキュメンタリー番組〉

自社制作のドキュメンタリー番組は、11 ページの「【資料 1】ドキュメンタリー番組の実績（2025 年度）」をご覧ください。

〈2025 年度の選挙特番〉

ラジオ

2025 年 7 月 20 日 24：30～25：00 「2025 参院選 RAB ラジオ開票速報」

2026 年 2 月 8 日 24：30～25：00 「2026 衆院選 RAB ラジオ開票速報」

テレビ

2025 年 7 月 20 日 「NNN 参院選 zero 選挙 2025」ローカル差し替え 4 回（42 分 44 秒）

2026 年 2 月 8 日 「NNN 衆院選 zero 選挙 2026」ローカル差し替え 4 回（53 分 26 秒）

〈2025 年度受賞番組〉

ギャラクシー賞

ラジオ部門大賞「RAB 耳の新聞スペシャル 寄宿舍放送クラブ」

<https://www.rab.co.jp/plan/476.html>

日本民間放送連盟賞

ラジオエンターテインメント部門優秀賞「RAB 耳の新聞スペシャル 寄宿舍放送クラブ」

ラジオ教養番組部門優秀賞「あなたが見た風景～目の見えない初枝さんと時のうつろい～」

<https://www.rab.co.jp/plan/307.html>

●字幕放送、解説放送、手話放送の実績

字幕放送、解説放送、手話放送の実績については、12 ページの「【資料 2】字幕放送、解説放送、手話放送の実績（2024 年度）」をご覧ください。

●地域の文化、経済の振興に資する事業の開催実績

青森放送は「地域を守る 地域を創る」の業務方針のもと、地域の伝統芸能を次世代に継承するための事業や芸術文化鑑賞・スポーツ観戦の機会を提供する事業、地域社会との連携・支援にも積極的に取り組んでいます。

【青森県民謡王座決定戦】

開局翌年の 1954 年以來続く伝統のコンテスト。大会は数多くの実力者を世に送りだし日本の民謡界をリードしています。本選では一般の部(民謡王座 1 名・準王座 2 名)・子どもの部(優勝 1 名・準優勝 2 名)を選出します。

【青森県手踊名人決定戦】

1970 年にスタートしたコンテスト。青森県に伝わる津軽手踊り・南部手踊りの踊り手の中から、個人の部(名人位 1 名、準名人位 1 名)・組踊り(団体)(優勝 1 組、準優勝 1 組)・子どもの部(個人)(優勝 1 名、準優勝 2 名)を選出します。

【あおり民俗芸能活性化大会 あおりプライド〜未来へつなぐ民俗芸能】

郷土芸能によって地域共同体のチカラを引き出すため、2025 年度から県教育委員会とともに開始。青森市、南部町、むつ市、つがる市の計 4 回公演は立ち見が出るほどの盛況ぶり。公演の様子はそれぞれテレビ番組で放送しました。2026 年度は開催回数が 6 回に増えます。

【RAB まつり】

リスナー・視聴者への日頃の感謝を込めて、2003 年から毎年 9 月に青森市の青い海公園で開催。県内外のアーティストを招いたステージや県内の特産品の実演販売などが行なわれます。毎年 2 日間で 10 万人前後が来場し、地域の活性化に寄与しています。

【あおりレディースオープンゴルフトーナメント】

開局 70 周年記念事業として 2023 年に招致した東北初の JLPGA ステップ・アップ・ツアー。青森県の夏のスポーツイベントとして定着しています。

【RAB オンラインショップ】

県産品の販路拡大を支援するため、2022 年に県産品通販サイトとしてリニューアル。120 事業者の商品 415 点を販売し（2026 年 8 月現在）、県産品の魅力を県内外に発信しています。

2025 年度のその他の主催事業は、13 ページの「【資料 3】自主事業（2025 年度）」をご覧ください。

●視聴者・リスナーのメディアリテラシー向上に資する活動

〈2025 年度の社内見学〉

22 団体の小学 1 年生から 91 歳まで 426 人が来社。

社内見学の申し込みは下記サイトをご参照ください。

https://www.rab.co.jp/event/#67_area

〈2025 年度出前授業・読み聞かせ事業〉

16 校実施

詳しくは、14 ページの「【資料 4】社内見学の実績（2025 年度）」および 15 ページの「【資料 5】出前授業・読み聞かせ事業の実績（2025 年度）」をご覧ください。

以上の通り、「公共性の発揮」について、遵守しております。

2. 人権尊重の徹底

全ての企業活動において、人権の尊重を徹底します。

人権尊重の取り組みが遵守されているかどうか定期的に検証し、必要な改善を行います。

■当社の取り組み

●人権尊重のために講じている措置

青森放送は「青森放送人権方針」を策定し、発信・提供するコンテンツを通して人権の尊厳を守るとともに、企業として人権課題に積極的に取り組んでいます。

「青森放送人権方針」については詳しくは下記サイトをご参照ください。

<https://www.rab.co.jp/rights/>

●社員・スタッフの社内、社外相談窓口

〈社内組織〉コンプライアンス委員会、放送倫理委員会、ハラスメント等に関する相談窓口を設置しています。26年4月に求職者対象のハラスメント相談窓口を設置しました。

〈社外相談窓口〉ハラスメントに関する社外相談窓口を弁護士に依頼しています。

2025年5月に社内調査を行い、会食・接待における不適切な事案がないことを確認しました。

詳しくは下記サイトをご参照ください。

<https://www.rab.co.jp/plan/60.html>

●人権尊重に関する研修会など

ハラスメント研修会を毎年開催しています。2025年度は2026年3月18日にハラスメント問題に詳しい弁護士を講師に迎えて研修会を開催しました。また、民放連主催セミナー等には必ず参加し、全社員・スタッフはもちろングループ会社の社員とも情報共有をしています。

2025年1月には社長が社員・スタッフに対するメッセージを発信し、「襟を正して地域メディアの役割を果たしていこう。」と呼びかけました。以降、ガバナンスの推進やコンプライアンスの徹底、地域メディアの役割などに関するメッセージを計10回発信しています。

以上の通り、「人権尊重の徹底」について、遵守しております。

3. 法令や社会規範の遵守

青森放送の社員・スタッフ・役員は放送の公共性と社会的影響、報道機関としての使命を十分に自覚し、地域社会から信頼される放送事業者であり続けるために高い倫理観を持ち、法令や社会規範を遵守します。

■当社の取り組み

●コンプライアンス憲章

青森放送・コンプライアンス憲章は、青森放送とグループ各社の全ての社員・スタッフ・役員が遵守すべき、基本的な内部規範を定めています。青森放送とグループ各社は、自ら、この青森放送・コンプライアンス憲章を遵守することを宣言するとともに、全ての役員・社員に対して、この青森放送・コンプライアンス憲章を読み、理解し、遵守することを求めます。

当社のコンプライアンス憲章は下記サイトをご覧ください。

<https://www.rab.co.jp/compliance/>

●コンプライアンス遵守や放送倫理を徹底するための取り組み

〈コンプライアンス委員会〉

青森放送は法令違反やハラスメントなどの重大なリスク事案に対応し、法令・定款・企業倫理の遵守、透明性の高い企業活動を遵守するために社長を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置しています。

〈放送倫理委員会〉

放送倫理委員会を毎月1回開催し、自社の番組や放送活動に放送倫理上の問題がないかチェックしています。委員会は委員長を務める常務取締役総務局長のほか、総務局、コンプライアンス推進室、編成局、営業局、報道局、制作局の管理職で構成されています。

〈番組基準〉

青森放送は「日本民間放送連盟 放送基準」に準拠した厳しい番組基準を運用しています。

<https://www.rab.co.jp/standard/>

〈個人情報の保護に関する基本方針〉

青森放送はリスナー・視聴者の信頼に応え、県民に役立つ放送を通じて青森県の発展に寄与するため、個人情報の保護に関する基本方針を定めて、情報の適切な管理を徹底しています。

<https://www.rab.co.jp/privacy/>

●取引先との適切な関係を維持・構築するための方針

〈パートナーシップ構築宣言〉

青森放送は取引先との連携・共存共栄を推進するため、「パートナーシップ構築宣言」をしています。詳しくは下記サイトをご参照ください。

<https://www.rab.co.jp/partnership/>

〈適正取引推進に関する社内研修会〉

中小受託取引適正化法、フリーランス・事業者間取引適正化等法の遵守を徹底するため、2024年11月と2026年3月に社内研修会を開催したほか、民放連主催のセミナー等には必ず参加し、全社で情報共有をしています。

●有給休暇の取得奨励や長時間労働の是正 〈有給休暇取得奨励日・ノー残業デー〉 年次有給休暇・取得奨励日を設定し、社員が有給休暇を取得しやすい環境を推進するとともに、毎週水曜日を「ノー残業デー」として、社員スタッフが業務の効率化や働き方を見直す機会を設けています。 〈行動計画〉 すべての社員・スタッフが能力を十分に発揮し、働きやすい環境を整えるため行動計画を策定しています。 計画期間…2026 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日までの 4 年間 目標…全従業員の 1 か月当たりの平均残業時間を 20 時間以内とする。
●女性活躍推進 青森放送はジェンダー平等推進を経営課題ととらえて、女性管理職の積極的な登用など活躍促進に取り組んでいます。2026 年 4 月に「ウェルネス推進部」を新設し、女性社員や若手社員の考え方も取り入れながら、ウェルビーイングな職場環境を作っていくことにしています。 〈採用した労働者に占める男性・女性労働者の割合〉 男性 56% 女性 44% (2025 年度) 〈女性管理職比率〉 2017 年 4 月 3.84% ➡ 2026 年 4 月 21.73%
●男性社員の育児休業・育児目的休暇推進 2025 年度は対象社員 2 人のうち、1 人が育児休業を取得しました。
●サステナビリティの取り組み 青森放送は人口減少や地球温暖化、頻発する自然災害など日本各地に共通する課題、地球規模の課題を身近なところから考えていく必要性をラジオ・テレビ・インターネットを通じて発信し、県民とともに取り組んでいます。 SDGs に関する取り組みについては、下記サイトをご参照ください。 https://www.rab.co.jp/sdgs/

以上の通り、「法令や社会規範」について、遵守しております。

4. 透明性の向上

長い時間をかけて築いてきた地域社会との信頼関係を深化させ、連携を強化していくため、経営の透明性を高めます。

当社は有価証券報告書の提出会社であり、経営情報は適切に開示しています。

■当社の情報・取り組み

●社是・経営方針・業務方針		
社是	「県民のために 県民とともに」	
経営方針	「ヒトを育てる モノを創る」「健康経営 働く環境の整備」「報道力・制作力の強化」	
業務方針	「地域を守る 地域を創る」	
●資本構成		
資本金：1 億 5,000 万円 発行済株式総数：300,000 株 詳しくは下記サイトの「有価証券報告書」をご参照ください。 https://www.rab.co.jp/securities/index.html		
●主要株主		
1/10 を超える議決権を有する者とその者の議決権比率 ・なし 株主総数：687 名 詳しくは下記サイトの「有価証券報告書」をご参照ください。 https://www.rab.co.jp/securities/index.html		
●役員構成		
代表取締役社長	山本 恒太	
常務取締役総務局長	岡野誠一郎	
取締役（社外）	塩越 隆雄	株式会社東奥日報社 代表取締役会長・主筆
取締役（社外）	成田 晋	株式会社プロクレアホールディングス 取締役会長
取締役	竹内愛一郎	
取締役東京支社長	中谷 圭一	
取締役	丹 郁夫	
取締役報道局長	佐藤 義之	
取締役地域連携局長	鹿内 雅人	
取締役制作局長	小山田文泰	
監査役（社外）	工藤 祐直	南部町長
監査役	川村 和夫	
●役職員数		
役員	12 人（男 12 人（100%）	女 0 人（0%））
社員	121 人（男 83 人（69%）	女 38 人（31%））
※共に 2026 年 8 月 31 日現在		

●番組審議会委員

青森放送が放送する番組の向上改善と適正を図るため、放送番組等の審議を行うことを目的として設置しています。

委員など詳しくは下記サイトをご参照ください。

<https://www.rab.co.jp/deliberation/>

●自社批評番組

番組名：あなたと RAB

テレビ…毎月最終土曜 10:00～10:15、ラジオ…毎月最終土曜 6:15～6:30

番組審議会の報告、視聴者からの問い合わせ・ご意見などを放送

●財務情報

貸借対照表 (2026 年 3 月 31 日現在) (単位：千円)	
<資産の部>	
流動資産	2,962,091
固定資産	6,320,290
資産合計	9,282,381
<負債の部>	
流動負債	1,742,735
固定負債	1,675,205
負債合計	3,417,940
<純資産の部>	
株主資本	5,609,154
資本金	150,000
利益剰余金	5,459,154
評価・換算差額等	255,288
純資産合計	5,864,441
負債・純資産合計	9,282,381

損益計算書 (自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日) (単位：千円)	
売上高	4,987,152
営業損失	328,052
経常損失	307,539
税引前当期純損失	241,906
当期純損失	245,203

詳しくは下記サイトの「有価証券報告書」をご参照ください。

<https://www.rab.co.jp/securities/index.html>

●ステークホルダーとの対話の回路強化

視聴者センターを設置し、視聴者の皆様からのご意見・お問い合わせを受け付けております。内容は毎日全社員・スタッフに共有しております。なお、ご意見・お問い合わせについては下記サイトをご参照ください。

<https://www.rab.co.jp/opinion/>

以上の通り、「透明性の向上」について、遵守しております。

5. 適切な経営体制の確立

適切かつ迅速な意思決定を行い、地域メディアとして県民の期待に応える企業活動を推進するための体制を構築しています。

■当社の情報・取り組み

●取締役会の構成

取締役会は10名（うち社外取締役2名）で構成され、法令で定められた事項及び経営に関する重要事項について、決議・報告を行っています。業務執行については「取締役会」のほかに、「常勤役員会」、「局長支社長会議」、「全社営業責任者会議」を定期的に開催し、情報の伝達及び共有化とリスクの未然防止に努めています。監査役は2名（うち、1名は社外監査役）で構成されており、取締役会に常時出席して、経営に対する助言、提言を行うことにより経営の透明性を高めています。

●取締役会の開催状況・各取締役及び監査役の出席回数

2025年度、取締役会を4回（5月、6月、11月、2月）開催しており、各取締役・監査役の出席状況は下記の通りです。

地 位	氏 名	出席状況
代表取締役社長	山 本 恒 太	4回／4回
専務取締役	松 森 康 尚	4回／4回
常務取締役	森 内 真 人	4回／4回
常務取締役	岡 野 誠一郎	4回／4回
取締役（社外）	塩 越 隆 雄	3回／4回
取締役（社外）	成 田 晋	4回／4回
取締役	竹 内 愛一郎	4回／4回
取締役	中 谷 圭 一	4回／4回
監査役（社外）	工 藤 祐 直	3回／4回
監査役	川 村 和 夫	4回／4回

詳しくは下記サイトの「有価証券報告書」をご参照ください。

<https://www.rab.co.jp/securities/index.html>

●取締役会の実効性や効率性を確保するための取り組みや体制

取締役会における議論が有効かつ効率的に行われるよう、代表取締役社長が社外取締役に対して審議事項や報告事項を事前に説明しています。

●取締役会におけるコンプライアンス違反等に関する報告状況

該当事項はありません。

以上の通り、「適切な経営体制の確立」について、遵守しております。

【資料1】ドキュメンタリー番組の実績（2025 年度）

①ラジオ

番組名	あなたと見た風景～目の見えない初江さんと時のうつろい～
放送日時	2025 年 5 月 25 日（日） 11：05～12：00
内容	全盲の内田初江さん（85 歳）を追ったシリーズ第 3 作。2 年半前に夫を亡くし、独り暮らしをしている彼女の穏やかな日常に寄り添いました。長年、スナップ写真の代わりに点字で短歌を残してきた初江さんですが、10 歳までは目が見えていたといいます。彼女の記憶の中に今も消えない風景、それは戦時中に受けた空襲の悲惨な記憶でした。離れて暮らす娘との関係を保ちながらも、独りで老後を生きる女性の前向きな姿を描きました。 ※2025 年日本民間放送連盟賞 ラジオ教養番組部門 優秀賞 受賞

②テレビ

番組名	日本のチカラ 青森りんご革命～搾りかすをレザーにした男～
放送日時	2025 年 7 月 28 日（月） 10：25～10：55
内容	日本一のりんご生産量を誇る青森県。しかし毎年約 2 万トンもの「搾りかす」がジュース製造などの過程で発生しています。この搾りかすに新たな価値を見出したのが、青森県出身の藤巻圭さん(40)。搾りかすを一部原料とした人工レザー「リンゴテックス」を開発し、注目を集めています。

番組名	80 年目の夏～青森に生きる二重被爆者の今～
放送日時	2025 年 8 月 24 日（日） 16：00～16：30
内容	青森市で暮らす福井絹代さん（95）は、14 歳の時に疎開先の広島と、避難先の長崎で被爆した「二重被爆者」です。結婚を機に青森県に移り住みましたが、これまで故郷のことや戦争体験を話すことはありませんでした。2019 年に青森県が福井さんの二重被爆を認定し、被爆者手帳を持つようになってからは、自らの経験を少しずつ話し始めるようになりました。

番組名	NNN ドキュメント'25 決して忘れない！14 人が再び向き合う青森空襲
放送日時	2025 年 12 月 14 日（日） 24：55～25：50
内容	2015 年、青森中央高校演劇部は、青森空襲の体験者への取材をもとにオリジナル演劇を創り上げ、空襲のあった 7 月 28 日に上演しました。以来、その日の上演にこだわり、歴代の演劇部員たちが繋いできました。しかし 2025 年は全国大会と重なってしまいます。そこで立ち上がったのは演劇部の OB・OG14 人。全国地に散らばる卒業生たちが、改めて青森空襲と向き合いました。

番組名	不屈の果実 2025
放送日時	2025 年 12 月 29 日（月） 14：00～15：00
内容	青森県でりんごが栽培されてから 150 周年を迎えた 2025 年は、大雪によるりんごの木の枝折れや苗木不足、それに後継者不足や温暖化などさまざまな問題に直面した 1 年でした。県内でりんご産業を未来につなげようと奮闘する生産現場を、りんご農家出身の記者が取材しました。

【資料 2】字幕放送、解説放送、手話放送の実績（2024 年度）

①字幕番組実績

指針の普及目標 の対象となる放 送番組（時間）	指針の普及目標 の対象となる放 送番組のうち字 幕番組（時間）	指針の普及目標 の対象となる放 送番組における 字幕番組の割合	総放送時間	総放送番組のう ち字幕放送時間	総放送番組に占 める字幕放送時 間の割合
171 時間 17 分	151 時間 8 分	88.2%	8,711 時間 26 分	4,459 時間 14 分	51.2%

②解説番組実績

指針の普及目標 の対象となる放 送番組（時間）	指針の普及目標 の対象となる放 送番組のうち解 説番組（時間）	指針の普及目標 の対象となる放 送番組における 解説番組の割合	総放送時間	総放送番組のう ち解説放送時間	総放送番組に占 める解説放送時 間の割合
2,194 時間 21 分	290 時間 25 分	13.2%	8,711 時間 26 分	345 時間 25 分	4.0%

③手話番組実績

総放送時間	総放送番組のうち手話放送時間	一週間当たりの手話放送時間
8,711 時間 26 分	12 時間 42 分	15 分

【資料 3】 自主事業（2025 年度）

	開催期間	事業名	会場
1	2025 年 4 月 19 日～ 5 月 8 日	名探偵コナンプラザ&くまのプーさん おひさまマーケット	イオンモール下田
2	2025 年 4 月 19 日～ 6 月 29 日	描く人 安彦良和展	青森県立美術館
3	2025 年 4 月 25 日	綾小路きみまろ 爆笑スーパーライブ	SG GROUP ホールはちのへ
4	2025 年 4 月 26 日	恐竜ラボ！キングオブハンターズ	リンクステーションホール青森
5	2025 年 5 月 18 日	岩崎宏美・LE VELVETS コンサート	リンクステーションホール青森
6	2025 年 6 月 8 日	アンパンマンミュージカル	SG GROUP ホールはちのへ
7	2025 年 6 月 14 日～ 6 月 22 日	MEAT PARADISE & 絶品グルメフェア	サンロード青森
8	2025 年 7 月 19 日～ 10 月 13 日	企画展 佐野ぬい	青森県立美術館
9	2025 年 9 月 4 日～ 9 月 25 日	コミック『転生したらスライムだった件』 10th Anniversary POP UP SHOP	サンロード青森
10	2025 年 9 月 13 日～ 9 月 15 日	RAB ご当地グルメ & スイーツフェア (RAB まつり併催)	青い海公園・アスパム
11	2025 年 10 月 3 日～ 11 月 3 日	にしむらゆうじのひみつ展	八戸ショッピングセンター ラピア
12	2025 年 11 月 15 日～ 2006 年 1 月 18 日	深堀隆介展	青森県立美術館
13	2025 年 12 月 20 日～ 2026 年 1 月 12 日	ミッフィーzakka フェスタ	八戸ショッピングセンター ラピア
14	2026 年 1 月 24 日～ 2 月 1 日	極上!!グルメフェスタ in 八食センター	八食センター
15	2026 年 3 月 20 日～ 3 月 29 日	サンロード青森フードフェスタ	サンロード青森
16	2026 年 3 月 20 日	四人衆コンサート	SG GROUP ホールはちのへ

【資料 4】 社内見学の実績（2025 年度）

	見学日	学校・団体名	学年・年齢	人数
1	2025 年 6 月 24 日	青森県立青森若葉養護学校	中学部高等部	27 人
2	2025 年 8 月 19 日	青森市・放課後等デイサービスきらら虹ヶ丘	小 2～中 1	20 人
3	2025 年 9 月 5 日	弘前学院大学 大学院 文学研究科「地域メディア特論」	大学院 1 年 中国留学生	2 人
4	2025 年 9 月 11 日	大鰐町・一般社団法人きゃんばす ワークステージらいむ（障がい者就労支援施設）	30～50 代	8 人
5	2025 年 9 月 25 日	六ヶ所村立千歳平小学校	小 4	14 人
6	2025 年 9 月 30 日	弘前市・放課後等デイサービス事業所 やっほ〜クラブ	小 1～6	15 人
7	2025 年 10 月 2 日	青森県立青森若葉養護学校（小学部）	小 1～3	13 人
8	2025 年 10 月 9 日	十和田市立十和田湖小学校 & 十和田湖中学校	小 4～6、 中 1・2	14 人
9	2025 年 10 月 23 日	藤崎町立藤崎小学校	小 5	35 人
10	2025 年 10 月 30 日	五所川原市立いずみ小学校	小 5	22 人
11	2025 年 11 月 6 日	ケアスマイル青森（障がい者宿泊施設）	20～50 代	15 人
12	2025 年 11 月 11 日 (2 校合同)	青森市立浪岡南小学校	小 5	30 人
		青森市立本郷小学校	小 5	6 人
13	2025 年 11 月 13 日	黒石市・浅瀬石地区老人クラブ 白寿会	70～80 代	10 人
14	2025 年 11 月 18 日	つがる市立稲垣小学校	小 5	10 人
15	2025 年 11 月 20 日	おいらせ町立下田小学校	小 5	21 人
16	2025 年 11 月 25 日	平川市立松崎小学校	小 5	27 人
17	2025 年 11 月 27 日	五所川原市立市浦小学校	小 5	9 人
18	2025 年 12 月 2 日	大鰐町青少年健全育成連絡協議会	60～80 代	16 人
19	2025 年 12 月 4 日	東日本高速道路(株)東北支社 青森管理事務所	20～60 代	13 人
20	2025 年 12 月 17 日	五所川原市立金木小学校	小 5	32 人
21	2025 年 12 月 18 日	青森市立浪岡北小学校	小 5	44 人
22	2025 年 12 月 23 日	黒石市立 六郷公民館	高齢者移動 教室 60～90 代	23 人
			合計	426 人

【資料 5】 出前授業・読み聞かせ事業の実績（2025 年度）

	実施日	学校名	学年	人数
1	2025 年 7 月 16 日	青森県立青森若葉養護学校	小学部中学部 高等部	25 人
2	2025 年 8 月 19 日	青森市・放課後等デイサービスきらら虹ヶ丘	小 2～中 1	20 人
3	2025 年 9 月 25 日	六ヶ所村立千歳平小学校	小 4	11 人
4	2025 年 9 月 30 日	弘前市・放課後等デイサービス事業所 やっほ〜クラブ	小 1～6	10 人
5	2025 年 10 月 2 日	青森県立青森若葉養護学校	小 1～3	5 人
6	2025 年 10 月 9 日	十和田市立十和田湖小学校、十和田湖中学校	小 4～6、 中 1・2	14 人
7	2025 年 10 月 23 日	藤崎町立藤崎小学校	小 5	32 人
8	2025 年 10 月 30 日	五所川原市立いずみ小学校	小 5	14 人
9	2025 年 11 月 11 日 (2 校合同)	青森市立浪岡南小学校	小 5	30 人
		青森市立本郷小学校	小 5	4 人
10	2025 年 11 月 18 日	つがる市立稲垣小学校	小 5	7 人
11	2025 年 11 月 20 日	おいらせ町立下田小学校	小 5	20 人
12	2025 年 11 月 25 日	平川市立松崎小学校	小 5	23 人
13	2025 年 11 月 27 日	五所川原市立市浦小学校	小 5	9 人
14	2025 年 12 月 17 日	五所川原市立金木小学校	小 5	30 人
15	2025 年 12 月 18 日	青森市立浪岡北小学校	小 5	40 人
16	2026 年 2 月 19 日	青森県立盲学校	幼稚部小学部 中高等部	6 人
			合計	300 人